

ワコーズ倶楽部『自遊』

～地域の皆様といい家・いい暮らしと豊かな生活を応援します～

大好評につき 第2号
発行日：2007年2月

発行：ワコーズホーム(株)
お客様サービス室

B型編集長
GO



B型編集長通信

今年はお客様満足度99点を目指します

目次

B型編集長通信

夢語るGOのコラム

ちょこっとアドバイス

Check!!「結露」

葵じーじの知恵袋

ちょこっとCM

私たちの最大の願いは、お客様に「ああ、いいリフォームをした!!満足満足...幸せだ」と思っていたくことです。ですから、私たちがさせていただいた仕事に対して、果たしてお客様がどのように評価されているのかが私たちの最大の関心事です。そこで、お客様にお会いした印象や、お言葉だけでご満足いただいているかどうか、判断させていただくだけでは不十分と考え、お引渡しさせて頂いたお客様全員の方に、「ご満足いただけたかどうか」詳細なアンケートをお願いさせて頂き、反省材料としております。内容といたしましては、営業社員の対応態度、言葉遣い、出来上がりに対する満足度、工事部のマナー、施工力、信頼性、現場の清掃など、あらゆる面に亘った設問になっております。

実績としては一昨年は79点（社内計算方法による）でしたが、昨年は92点と、予想以上の評価をいただき、大変感謝しております。特に良い点をいただいておりますのが、仕上がりに対する評価で、次に社員も高い点数をいただけました。少し悪かったのが、工事中のマナー、仕事に対する信頼性についてご指摘いただきました。今年はこの弱点を補いながら、長所を伸ばし、更に一段も二段も努力をして99点を目指してがんばってまいります。われらお客様サービス室もお客様のご満足度エキスに日々お伺いしてまいります。どうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

夢語るGOのコラム



無気力、無関心、個人主義といった時代の中で、本当に人は変わってしまったのか、という疑問を最近考えます。ボランティアで剣道を教えていますが、年々「がんばり」や「ねばり」とかいうものを要求する事が難しくなってきました。あきらめが早く、割り切ってしまうのでしょうか。熱く語れば語るほど虚しさも半分です。しかし、全員が全員そうだとはいえません。中にはなんとしても昇段したい、活躍したい、という

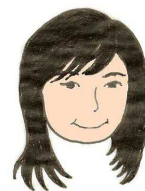
思いが強く、必死にくらいついてくる人もいます。人が一生懸命になる姿は見ている側にパワーを与え、自分も「がんばろう」という気になってきます。先日ぼんやりとテレビを見ていると、ガンと戦っている36歳のIT社長のドキュメントをやっていました。画面に吸い込まれるように彼の生き様に釘付けになってしまいました。余命三ヶ月と言われた若き社長はガンとしっかり向き合い、それに振り回される事なく仕

事や講演会に奔走していた。残された日々をどれだけ勝ちあるものにしていくかという事を考えそれを精力的に実行していく。その姿はすさまじかった...穏やかでも何騒ぎ立てる事のない静かな空気の中で、自分がこの世に残せるものを必死で求めているようでした。そのがんばりは普通の人では真似できないほどの力と神秘性がありました。頑張る人を見ることによって力をもらった、そんな夜でした。



ちょこっとアドバイス

キケン!!浴室でのヒートショック!! ～ 温度のバリアフリーで快適な冬を～

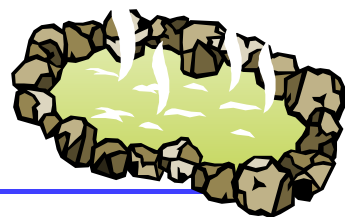


みかんを丸呑み
お客様サービス室
匝瑳 真弓

暦では春になりますが、まだまだ寒く、この時期に住居内で多く起こるのが入浴事故です。日本では一年に約3万件の入浴事故が起き、冬場の入浴急死事故が夏場の3倍です。また、65歳以上の方の死亡率は世界一で、第2位のロシアに比べても2倍以上の事故率となっています。この原因が、そう「ヒートショック現象」です。ヒートショックとは、急激な温度変化が血圧を急激に上昇させたり、脈拍を早くしたりというような、身体に与える衝撃（ショック）のことです。戸建ての住宅は暖房している部

屋としていない場所の温度差が10度を越えることがあります。暖かい部屋では血圧は安定していますが、寒い脱衣場に入ると血管が収縮して血圧が上がります。服を脱ぎ、お風呂場に入ると床が冷えていて更に寒く感じ、血圧がさらに上昇します。そして42度以上のお風呂に入ると浴室と30度の温度差ができる場合もあり、身体にかなりの負担をかけ、特に高齢者は危険です。「一番風呂は良くない」といわれますが、暖まっていない浴室は危険という意味にも取れるように思います。住宅のバリアフリーは段差解消、

手摺取付だけではありません。家族の健康、安全のために部屋の温度差のバリアフリー化を図る事が大切です。洗面、脱衣、浴室には暖房器具を取付け、事故を防ぐ配慮が必要です。簡単に後付けできる換気暖房機もありますので、脱衣室、浴室の温度のバリアフリーをすぐに解決する事ができます。快適なはずの入浴が寒くて不精になったり、危険で怖いものになったりすると大変ですね。浴室も暖かで快適にしたいものです。



Check!!「結露」 あれっ!!カビが! 結露は怖~い! の巻

冬場、窓ガラスの室内側に水滴がついていることがありますね。これは、もう言わずもがな『結露』というものです。結露とは、暖かい空気に含まれている水蒸気が冷やされて、窓や壁などの冷たい部分に水滴となって現われる現象のことです。夏場でも、冬場とは違うメカニズムですが、結露は発生します。「たかが結露、されど結露!」結露は家の内部の壁やクロスの上になるだけでなく、カビやダニを発生させ(私が住んでいるマンションの北側のお宅はなんとキノコが生えたそうです。どうせ生えるのなら

ナメコとか舞茸がいいな笑)、健康被害をもたらします。また、構造体の内部に起こった結露は、軸組みを腐らせ、耐久性を失わせるとても怖いものなのです。家の内部の結露を防ぐには、時々窓を開けて換気する。換気扇を回す。隣接する部屋の温度差がでないようにする。水蒸気を出すストーブは避け、水蒸気の出ないエアコンや床暖房を使用する。家具は壁から5cmほど離して、空気の通り道をつくる。押入やクローゼットは詰め込まず、スノコを引いて

時々扇風機をかけて空気の流れをよくし、予防する事が大切です。構造体の内部の結露については、お早めに私ども専門家にご相談下さい。



サプライズ大好きいたずらっ娘
お客様サービス室 村瀬 寛子



ワコーズって、こんな楽しい職場なんだ~というようなご感想を心待ちにしています。

まもる

葵じーじの知恵袋



鬼は外、で邪気をはらって春を迎える心の準備

「鬼は外、福は内！」豆まきで知られる節分は、季節が変わり、いよいよ春が訪れたことを知らせます。節分の行事は1年の邪気をはらうものですが、一方では体調の崩しやすい季節の変わり目が近づいてくる事を、私たちに気づかせてくれる日でもあるのです。

【ヒイラギの魔除け】

ヒイラギの枝、ヨモギの枝、大豆のサヤにイワシの頭を刺して、魔除けとして飾ります。イワシの頭は、目刺や煮干しに使うカタクチイワシでもOKです。

【豆まき】

豆まきはいり豆を使い、まいた

あとは、自分の年の数 + 1個だけを食べます。この豆をとっておいて、初雷の時に食べると、雷さまにおへそをとられないといわれています。

【巻き寿司丸かぶり】

恵方（その年のめでたい方角）を向いて願いごとをしながら、のり巻きの端からかぶりつきます。食べ終わるまでは振り返らず、黙ったまま食べることができれば願いがかなうといわれています。さっき、コンビニで確認したら今年の恵方は北北西のようですね。

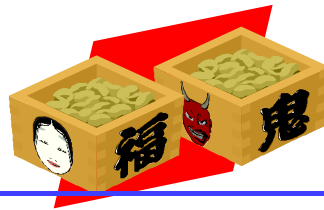
だからじーじなんて言わないでって！笑



お客様サービス室

佐藤 葵

日本の四季は美しいですね。それは今も昔も変わりません。春夏秋冬の一つひとつに昔から伝わる伝統行事があります。行事は暮らしの中に四季を取り込んで、折々の自然を心ゆくまで楽しませてくれます。豊かな暮らしってこんなところにあるのかもしれないね。



ちょこっとCM

『あれ?なんかあったかくなかったね。エアコンの温度上げたの?』

~冷暖房がよくきくお部屋、静かなお部屋に手軽にリフォーム『インプラス』~

いえいえ、エアコンの温度なんか上げませんよ。温度を上げずに部屋を暖かく、さらに結露も防げる（部屋の環境によります）インプラス（リフォーム用内窓：トステム株）のご紹介です。「インプラス」ってなんか名前が素敵ですね。さてさて、何がプラスなんでしょう？それはですね、まず、断熱性、遮音性がプラス。インテリアコーディネートのためのカラーバリエーションをプラス、短時間施工の良さをプラス、



3タイプ（引き違い窓、開き窓、FIX窓）の種類と豊富なオプションをプラス。まさにすべてにプラス要素を含んだサッシなのです。左ページでも書きましたが、皆さんは結露はしょうがないものとあきらめてませんか？外からの騒音、室内からの音漏れ、気になってませんか？冷暖房の季

節、家計を少々圧迫してませんか？インプラスはそんなお悩みを一挙に解決しちゃいますよ。文字だけでは伝えにくいので、資料をおつけしますね。是非一度ご検討下さい。お問合せは「お客様サービス室」へ！「ワコーズ倶楽部」を見て...と言ってくれたら嬉しいな。（永遠のおてんば娘 村瀬寛子）



どうしても耐震診断は必要なの？

あの阪神淡路大震災から12年。日頃から災害に備えている方も少なくなっているようです。でも、もし今からお家をリフォームされるなら、見た目や使い勝手以外に大切な部分があることを思い出していただませんか？

近年大きい地震が続いたため、終生暮らす家に対して「我が家は大丈夫なの？」と考える方が増えてきました。何故、木造住宅はとりわけ心配なのでしょうか？実は築年数や構造（コンクリートや木造など）だけでは決まりません。どういう建て方で、どの位の強さなのかを実際に調査、診断しなければ、どう改善すれば安心なのかかわからないのです。でも、自分の生涯には起きない大地震に対して、家を補強して日頃から備えておきましょうというの、なかなか難しいのが実際ですよ。でももし、これからリフォームをされるなら、耐震のことを気にしないのは論外だと思います。いくらき

れいになり、使い勝手の良くなるリフォームをしても、地震であっけなく潰れてしまっは命や財産を守るとい、家の最も大切な役目を果たしていませんか。耐震強度偽装事件で、今まで耐震強度審査のなかった木造住宅でも、今後は審査が義務付けられる見込みです。これからリフォームをするなら耐震診断を必ず！逆に耐震診断の必要ない方をあげてみましょう。あてはまるものが一つでもあれば必要ありません。

自分が地震に見舞われる可能性をまったく考えない方

リフォームは見た目や新しさでご近所に自慢できるのが何よりだと思っている方

耐震診断なんて、やっても同じだと思っている方

耐震基準が義務付けられた平成12年以降の家に住んでいるので耐震診断なんて無関係だと思



い込んでいる方...

どうしたら多くの人に安心して住んでもらえるようになるか、ワコーズホームが出来た事を考えました。ワコーズホームでは、2月からリフォームの見積でお伺いする際には耐震診断も行ないません。診断に掛かる費用も当初はいただかないこととします。ただし、床下、天井裏に入っの診断をしますから、多少お片づけをしていただく必要が有る事と、診断作業には多少時間がかかりますが、ご主人様か奥さまのお立会いをお願いいたします。この活動がお役立ちに感じていただけるかは分かりませんが、とりあえず活動を始めてみたいと思います。診断を希望されない場合は行ないません。ご安心下さい。

編集後記

最後まで読んでいただいてありがとうございます

「燃ゆるとき」角川文庫 高杉良著

マルちゃんでおなじみの東洋水産の生い立ちから、本社ビル設立までを描いた小説です。数人で始めた魚屋が、一部上場企業にまで発展するまでの苦労話といえばそれまでですが、ノモンハン生き残りの主人公の生き様は傷だらけになっても何度でも立ち上がるその諦めない精神力に心打たれる思いがしました。小さい夢でも追いかけて、へこたれなければ企業は成長することを改めて実感させられました。得られることが多いと思います。一読を強くお勧めします。

ワコーズホーム(株)

千葉市稲毛区長沼原町711

TEL:0120-321-333

FAX:043-259-4604

<http://wakoju.co.jp>

e-mail info@wakoju.co.jp